

永田町新潮流 平沢勝栄

俺がやらねば



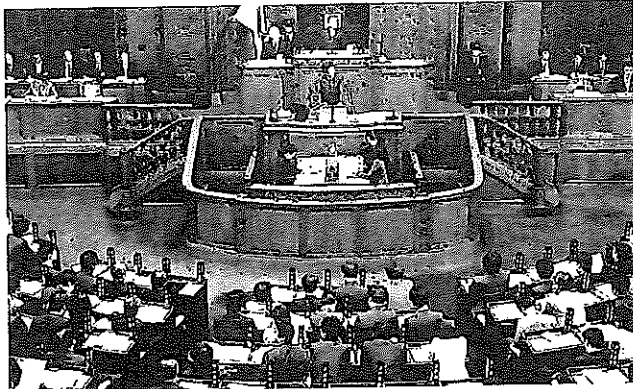
臨時国会スタート

日米貿易協定など課題が山積の中で、臨時国会が始まった。日本は諸外国のような通年国会ではないので、今国会が第200回の国会となる。

私は、かつて田中角栄元首相が主張したように「日本もいずれは通年国会にしたらどうか」と思っている。いずれにしても、自民党は謙虚に、そして丁寧に国会審議に臨んでいくべきだろう。

ところで、最近の選挙では街頭演説の際に、ヤジで演説を妨害する者が相次いでいる。場合によっては、警察官がトラブル防止に乗り出す始末である。

の1つの方法であり、これが力づく



一部の左派のマスコミはそのヤジを飛ばす者を擁護し、警察を強く批判する。例えば「ヤジも意思表示

で排除されるようになれば、市民は街頭で自由に声を上げることができなくなる」「開かれた場所での選挙活動で、政策への賛否を言い表すことは許されないのか」といった具合だ。

確かに、ヤジは憲法上の「表現の自由」として最大限に尊重されなければならぬ。

しかし、最近のヤジはかつてとは違い、政策に対する意見表明とはおよそ程遠いものだ。

妨害は許さない

このままいくと、街頭演説も徐々に行われなくなる恐れがある。

「民主主義の危機」ではないか。

「表現の自由」は守らなければならない。しかし、同時に街頭演説が妨害されずに行われることも重要である。

「表現の自由」が絡むことから関係者はヤジへの対応に慎重である。

しかし、関係者には「ヤジを飛ばす権利は認めるが、同時に弁士や演説を聞いている者の権利を不当に妨害することは許さない」との基本原則のもと、しっかりとヤジに対応してもらいたいと思っている。

(自民党衆院議員)

最近のヤジは政策への意見表明とは程遠い